

事業

1. 研修員受入事業

(1) 研修員の受入（資料1）

研修員受入事業は、開発途上国から国造りの担い手となる研修員を受入れ、多岐に渡る分野で専門的知識、技術の移転を行うことによって人材育成を支援する事業です。この事業は日本が開発途上国を対象に実施している「人」を通じた技術協力の中で最も基本的な形態の一つです。

「研修員受入事業」には下表のとおりさまざまな実施形態があります。

研修形態	説明
課題別研修	開発途上国にとって特にニーズの高い中長期的な課題について、事前に研修カリキュラムを策定し、複数国から参加者を募る方式で実施する数週間から数ヶ月の研修
国別研修	特定の国を対象に、その国からの要望と課題に応じた研修カリキュラムを策定する研修
青年研修	開発途上国の青年層を対象に、日本の経験や技術を理解する基礎的な研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する短期間（標準18日間）の研修
日系社会研修	中南米地域の日系社会と日本の連携に主導的な役割を果たす方（日系人に限定されない）を対象とする短期（3ヶ月以内）または長期（10ヶ月以内）の研修
長期研修	開発途上国の未来と発展を支えるリーダーとなる人材を対象に、日本の大学等高等教育機関において、修士または博士の学位取得を目的とする研修

また、上記以外にも草の根技術協力事業（後述）において、現地で事業に携わっている途上国関係者を対象とした本邦研修（カウンターパート研修）もあります。

JICA 沖縄では亜熱帯・島しょ地域等の特徴を活かした研修を実施しています。例えば、開発途上国と共通する農水産品の品質向上や多様化の研修、限られた資源を有効活用するための水資源や廃棄物にかかる研修、自然環境を活かした観光に関する研修などがあります。また、沖縄の風土や経験を活かした研修として、保健システムや感染症対策、障害者の社会参加、離島・へき地教育などの基礎教育に関する研修を実施しています。このほか、情報通信技術分野では長い歴史を持つ、技術革新と途上国のニーズに対応した研修を実施しています。

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、短期の来日研修が中止となったため、オンライン・オンデマンドによる遠隔研修を導入、実施しました。

2020年度には新規に20コースを実施し、60カ国から141人の研修員を受け入れました（遠隔研修および長期（来日）研修）。また、帰国研修員へのフォローアップとしてオンラインによる遠隔セミナーを実施しました。

ア. 課題別研修

コース名 ※下線は国別研修	人数	研修期間	研修受託機関
<運輸交通>			
道路維持管理 (C)	8	21/2/1~21/4/15	NPO法人グリーンアース
<情報通信技術>			
ICT実践力強化のためのコア人材育成 (A) ITアーキテクト	7	21/1/13~21/6/4	ICT研修共同企業体 (富士通グループ)
ICT実践力強化のためのコア人材育成 (B) CIO補佐	11	21/1/13~21/6/4	ICT研修共同企業体 (富士通グループ)
<保健医療>			
エビデンスに基づく公衆衛生計画立案	9	21/1/18~21/2/19	(株) ティーエーネットワーク
公衆衛生活動による母子保健強化 (A) (英語)	6	21/1/18~21/3/12	(株) ティーエーネットワーク
公衆衛生活動による母子保健強化 (B) (スペイン語)	9	20/11/16~21/1/26	(株) ティーエーネットワーク
地域保健システム強化による感染症対策 (A)	5	21/1/18~21/3/12	(株) ティーエーネットワーク
地域保健システム強化による感染症対策 (B)	5	21/1/18~21/3/12	(株) ティーエーネットワーク
公衆衛生活動による母子保健強化 (C) (ポルトガル語)	7	20/11/16~21/1/29	(株) ティーエーネットワーク
公衆衛生活動による母子保健強化 (D) (英語)	5	21/1/18~21/3/12	(株) ティーエーネットワーク
<社会保障>			
地域に根ざしたインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加と生計 (B)	10	21/2/1~21/3/16	NPO法人エンパワメント沖縄
地域に根ざしたインクルーシブアプローチによる障害者の社会参加と生計 (C)	10	21/2/1~21/3/16	NPO法人エンパワメント沖縄
<自然環境保全>			
EPS (生物浄化法) による小規模浄水システムと水道管理技術	13	21/1/12~21/2/19	NPO法人 沖縄 Blue Water
<農業・農村開発>			
島嶼国における水産業多様化と資源の持続的利用	7	21/1/12~21/2/19	(有) 琉球環境マネジメントサービス
<民間セクター開発>			
熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営 (英語) (A)	7	21/1/11~21/2/5	NPO法人おきなわ環境クラブ
熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営 (スペイン語) (B)	10	21/2/8~21/3/8	NPO法人おきなわ環境クラブ

イ. 国別研修：実績なし

ウ. 青年研修：実績なし

エ. 日系社会研修

コース名	人数	研修期間	研修委託先
沖縄ルーツの認識を通じて学ぶソフトパワーの活用と地域活性	9	20/12/1～20/12/20	NPO法人レキオウィングス

オ. 長期研修

コース名	人数	研修期間	研修受託機関
アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ (ABE) 2020・第7バッチ・修士	1	20/12/2～22/9/30	琉球大学大学院 保健学研究科
SDGsグローバルリーダー・コース2020 (アフリカ)・博士	1	20/11/13～23/9/30	琉球大学大学院 保健学研究科
道路アセットマネジメント2019・修士	1	20/10/16～22/9/30	琉球大学大学院 理工学研究科

カ. 帰国研修員フォローアップ (遠隔セミナー)

コース名	人数	研修期間	研修受託機関または 共催団体
<保健医療>			
島嶼国安全な島づくりワークショップ	26	21/3/18	琉球大学 (株) ティーエーネットワーク
<教育>			
コロンビア 平和教育における現職教員研修制度強化	10	20/10/14	NPO法人レキオウィングス
<農業・農村開発>			
フィリピン アグリビジネス/アグリツーリズム	19	21/3/4	NPO法人レキオウィングス

(2) 研修員滞在中の共通プログラム (資料2)

数ヶ月にわたる研修期間中に、研修員の滞在が有意義となり、日本および沖縄の良き理解者となるよう次のような取組を行っています。2020年度は、短期の来日研修が中止となったため、長期の研修員に限定して小規模に実施しました。

ア. ジェネラル・オリエンテーション、日本語研修

日本や沖縄について理解を深めてもらうため、歴史や文化、政治経済、教育制度などの講義、首里城または沖縄県立博物館の見学および日本語研修を行っています。

イ. 福利厚生

沖縄や日本の文化に親しんでもらうため、休日や夜間の自由時間を利用した県内バスツアー、書道、茶道など日本の伝統文化紹介などの福利厚生を実施しています。

ウ. 地域との交流

研修員は沖縄各地で実施される地域主催の祭りや行事、各種プログラムに招待されることもあり、彼らにとって地域住民との交流及び日本・沖縄文化の理解を深める良い機会となっています。また、浦添市国際交流協会の協力で、研修員が休日に一般家庭を訪問し、アットホームな交流を楽しむホームビジットも実施しています。